

2026-012
2026年7月2日

【ホテル日航大阪】
**西陣織の最高峰の技術で名画を再現した
美術工芸品を7月2日（木）より展示**

尾形光琳の「紅白梅図屏風」やゴッホの「ひまわり」を題材とした作品が登場

大阪 心斎橋のホテル日航大阪（大阪府中央区西心斎橋1-3-3、代表取締役社長・総支配人：呉服 弘晶）は、2026年7月2日（木）～7月30日（木）の期間、メインロビー（2階）にて、西陣織美術工芸「あさぎ」の織技術によって著名な西洋絵画や日本画を西陣織で再現した作品を展示します。



メインロビー（2階）の展示

ホテル日航大阪では、日本の伝統工芸の魅力を、国内外からお越しになるお客様に広く知っていただくことを目的に、駅直結である当ホテルの公共性を生かした空間において、2023年より伝統工芸品の展示を行っています。今回は、西陣織の最高峰の織技術で名作や名画を再現する西陣織美術工芸「あさぎ」を紹介します。期間中は、大阪の天神祭や京都の祇園祭にゆかりのある作品をはじめ、世界的な名画を題材にした作品など、計5点を展示します。

また展示コーナーでは、「あさぎ」の魅力や制作工程を紹介する動画も上映いたします。繊細な織技術が生み出す美術工芸品を間近でご覧ください。

展示作品：①西陣織極細織 屏風 尾形光琳「紅白梅図・松島図」

尾形光琳の代表作の一つである「紅白梅図屏風」と「松島図屏風」の意匠を組み合わせた作品。展示期間中に開催される大阪天満宮の天神祭に合わせ、祭神 菅原道真公ゆかりの「梅」を描いた「紅白梅図屏風」を特別に展示します。

②西陣織極細織 丸帯 上杉本などより「洛中屏風絵大観」

「上杉本、洛中洛外図屏風」などを題材に、京都の祇園祭でにぎわう山鉦巡行を本金箔やプラチナ箔を用いて織り上げた、絢爛豪華な作品。

- ③西陣織極細織 袋帯 フィンセント・ファン・ゴッホ「ひまわり」 *額装展示
世界最高峰の絹糸（ブラタク 6A）20 色を使用し、「ひまわり」の色彩や油彩の筆使いまでも織で再現した作品。
- ④西陣織極細織「七夕」 *額装展示
7 月 7 日の「七夕の節句」に合わせ、夜空にきらめく天の川の情景を表現した作品。
※西陣織極細織「七夕」は、7 月 2 日（木）～7 月 7 日（火）の期間限定で展示します。
7 月 8 日（水）以降は、他の作品と入れ替え予定です。

■西陣織美術工芸「あさぎ」について

日本最古の伝統産業と伝わる西陣織は、平安時代に端を発し、今日に至るまでさまざまな文化の影響を受けながら、匠の技によって織り継がれてきました。西陣織美術工芸「あさぎ」では、「1800 口織ジャガード織機」を駆使し、一般的な西陣織の 4～9 倍の織細さで名作や名画を織り上げています。その高い技術力により、表情ゆたかな筆使いや色合い、自由な発想を、織物の世界で表現します。



【西陣織美術工芸「あさぎ」作品 展示概要】

展示期間：2026 年 7 月 2 日（木）～7 月 30 日（木）14:00

展示場所：ホテル日航大阪 メインロビー（2 階）

展示作品：全 5 点（内 1 点は、展示替えあり）

協力：西陣織あさぎ美術館

お問い合わせ：ホテル日航大阪 マーケティンググループ

TEL.06-6244-0747（月～金 10:00～17:00／祝日を除く）

【西陣織あさぎ美術館 四条烏丸館 本館】

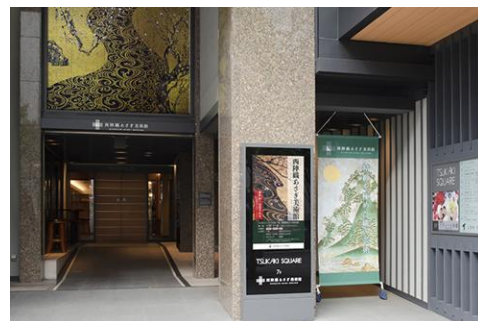
西陣織最高の伝統技術を「身を飾る帯」から更に「空間と心を飾る芸術」へと昇華させた、未来への継承を使命とした美術館。

住所：京都市下京区烏丸通仏光寺上ル二帖半敷町 661

ツカキスクエア 7F

TEL：075-353-5746

公式サイト：<https://asagi-museum.jp/>



【ホテル日航大阪】

大阪市中央区西心斎橋 1-3-3

大阪メトロ御堂筋線・長堀鶴見緑地線「心斎橋駅」8 号出口直結

TEL. 06-6244-1111（代表）公式サイト <https://www.hno.co.jp>